

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成29年度～平成33年度（5年間）																									
事業実施地区名 （都道府県名）	（くしろねむろ） 釧路根室森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 こんせんとうぶ 根釧東部森林管理署																									
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の東部に位置する根室市を含む1市4町に所在する国有林約54千haを対象としている。</p> <p>本森林計画区は、知床世界自然遺産や国立公園、道立公園、ラムサール条約登録湿地など、多くの貴重な森林資源や景観等優れた環境を有している一方、自然環境は夏季の低温、冬期の季節風などの影響により、森林の生育環境としては厳しい地域である。</p> <p>なお、本計画区内を流れる主な河川は、さけ・ます漁業資源管理河川に設定されており、国有林はその上流域から中流域に位置し、水道水だけではなく、基幹産業である漁業の振興の面からも良質な水の供給など、水源涵養機能への期待からも国有林の役割が重要視されている地域である。</p> <p>また、北海道遺産に認定されているカラマツ等の人工林で構成されている「格子状防風林」は、農業・畜産業・住環境の保全にも寄与しており、水源涵養機能及び国土保全（防風）機能を重視した、地域の基幹産業に配慮した適切な森林の管理経営を行うこととする。</p> <p>本事業は、これらの地域の期待や要請に応えるとともに地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>972</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>14,615</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>8.1</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,849,020</td> <td>千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	972	ha			保育面積	14,615	ha		路網整備	開設延長	8.1	Km			改良延長	0.1	Km	総事業費			1,849,020	千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	972	ha																								
		保育面積	14,615	ha																								
	路網整備	開設延長	8.1	Km																								
		改良延長	0.1	Km																								
総事業費			1,849,020	千円																								
費用対効果分析	総 便 益 (B)	19,060,779	千円																									
	総 費 用 (C)	2,468,508	千円																									
	分析結果 (B/C)	7.72																										
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えます。																											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、格子状防風林など地域の基幹産業となる農業や酪農への寄与からも山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業や酪農等住環境への振興に資する役割のほか、山地災害の防止に対する機能の発揮が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																											

別紙様式7

整理番号4

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 根釧東部森林管理署

事業実施地区名: 釧路根室森林計画区(くしろねむろ)

(都道府県名: 北海道)

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,837,205	
	流域貯水便益	1,213,258	
	水質浄化便益	2,655,764	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,666,633	
環境保全便益	炭素固定便益	2,090,301	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	88,426	
	木材利用増進便益	198,493	
	木材生産確保・増進便益	3,189,703	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	4,531	
	森林整備促進便益	116,465	
総 便 益 (B)		19,060,779	
総 費 用 (C)		2,468,508	
費用便益比	B ÷ C =		7.72

森林環境保全整備事業 釧路根室計画区(北海道) 事業概要図



対象計画区拡大図

